※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生物基礎（実教出版）						
副教材等	授業プリント、視聴覚教材等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近な生物や生物現象に興味・関心をできるだけ持ってほしいです。ちょっとしたことでもいいので、不思議や疑問に思い、わくわくする気持ちが大切です。
・学習や実験・観察の過程で思う自分の考えを意見として出すことができる、“自由な発想”をもって欲しいと思います。必ずしも正しい答えを出す必要はありません。何が正しいのかを“論理的に考える力”を身につけてもらえたらうれしいです。

２　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
・生物と遺伝子について観察、実験などを通して細胞の働き及びDNAの構造などを理解させ、生物の共通性と多様性の視点を身に付けさせる。
・生物の体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識させる。
・生物の多様性と生態系について、その大切さを学びながら、保全の重要性を理解させる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解でき、人に説明したり、プリントにまとめたりすることができる。 実験などで観察したものを見たまま正確に書き表して記録することができ、安全を確認しながら指示された操作を確実に行うことができる。	生物や生物現象の事象において、経験したことのない現象を科学的・理論的に考えたり結果を予測したりし、それを人に説明することができる。 またそれらをプリントなどにまとめ、発表したりすることができる。 それに加え、実験結果をわかりやすくまとめることができる。	身近な生物や生物現象について興味・関心を持つことができる。 また疑問に思ったことを質問したり、自分で調べたりして解決の道筋を立てることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生物の特徴	生物の多様性と共通性	a：顕微鏡を正しく操作することができ、正確に記録やスケッチをすることができる。また細胞の構造を理解している。 c：地球上にいる生物は多様でありながら、共通性を持っていることに興味持つ。	学習状況 授業プリント 定期考査 実験・観察		課題レポート 振り返りシート
		生物とエネルギー				
	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA	a：遺伝子の本体が DNA であることを理解し、その情報を基にしてタンパク質が合成されていることを理解している。 b：タマネギの根端を用いた体細胞分裂の観察し、スケッチしたものを説明することができる。	学習状況 授業プリント 定期考査 実験・観察	定期考査 実験・観察	
		遺伝情報とタンパク質の合成				
	ヒトのからだの調整	体内環境	a：体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解している。また生態防御の仕組みを理解している。 b：血球を観察し、心臓の図から心臓の仕組みと働きを理解し、説明することができる。 c：体内環境や生態防御の仕組みについて関心を持つ。	学習状況 授業プリント 定期考査		課題レポート 振り返りシート
		体内環境の維持のしくみ		学習状況 授業プリント	定期考査 実験・観察 課題レポート	
後期		免疫		学習状況 授業プリント 定期考査	定期考査	課題レポート 振り返りシート
	生物の多様性と生態系	生態系とその成り立ち	a：様々な植生とその違いを理解する。生態系と食物連鎖の仕組みを理解し、生態系のバランスと保全の重要性がわかる。 b：陸上にみられる様々な植生について理解し、遷移について説明することができる。	学習状況 授業プリント 定期考査	課題レポート	
		植生とバイオーム				
		生態系と生物の多様性	a：生物の多様性のバランスやその保全が重要であることを理解する。 b：資料やデータから情報を読み取り、考えをまとめることができる。 c：生物の多様性と生態系の関係について関心を持つ。	学習状況 授業プリント 定期考査	課題レポート	課題レポート 振り返りシート
		生態系のバランスと保全				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度